

厚生労働大臣 殿

東京医科歯科大学
学長 鈴木 章

東京医科歯科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	102人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	224人	313人	537人	看護業務補助者	3人	診療エックス線技師	
歯 科 医 師				理学療法士	5人	臨床検査技師	63人
薬 剤 師	20人	16人	35.8人	作業療法士	5人	臨床衛生検査技師	
保 健 師				視野訓練士	5人	その他	
助 産 師	8人	4人	9.8人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看 護 師	614人	26人	635.6人	臨床工学士	11人	医療社会事業従事者	6人
准 看 護 師				栄養士	1人	その他の技術員	16人
歯 科 衛 生 士				歯科技工士		事務職員	86人
管 理 栄 養 士	3人	2人	5人	診療放射線技師	32人	その他の職員	3人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	692.6人		692.6人
1日当たり平均外来患者数	1,996.8人		1,996.8人
1日当たり平均調剤数	(外来) 745.2剤	(入院) 756.4剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日で除した数を記入すること。

(様式10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の親血的移動術	無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	無	人
・容血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
・人工中耳	無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	無	人
・性腺機能不全の早期診断法	無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術	無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	無	人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	無	人
・抗がん剤感受性試験	無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	無	人
・腹腔鏡下肝切除術	無	人
・画像支援ナビゲーション手術	無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	無	人
・成長障害のDNA診断	無	人
・生体部分肺移植術	無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内開脈大循環短絡術	無	人
・乳房漏在療法における鏡視下腋窩郭清術	無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	無	人
・鏡視下肩峰下控除圧術	無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	無	人
・カフェイン併用化学療法	無	人
・31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤 耐性遺伝子解析	無	人
・高発がん性遺伝子性皮膚疾患のDNA診断	無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有	0人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼却療法	無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼却療法	無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	無	人
・活性化血小板の検出	無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
・クランチ病の遺伝子診断	無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮筋症核出術	無	人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	無	人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	無	人
・冷凍保存同種組織を用いた外科治療	無	人
・強度変調放射線治療	無	人
・胎児心超音波検査	無	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有	84人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	無	人
・インプラント義歯	無	人
・顎顔面補綴	無	人
・人工中耳	無	人
・歯周組織再生誘導法	無	人
・抗がん剤感受性試験	無	人
・腹腔鏡下肝切除術	無	人
・生体部分肺移植術	無	人
・活性化血小板の検出	無	人
・抹消血幹細胞による血管再生治療	無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	無	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	無	人
・超音波骨折治療法	無	人
・眼底三次元画像解析	無	人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	無	人
・非生体ドナーからの採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	無	人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	無	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	無	人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	292人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	132人
・多発性硬化症	90人	・ウェゲナー肉芽腫症	28人
・重症筋無力症	168人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	15人
・全身性エリテマトーデス	680人	・多系統萎縮症	1人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	43人	・膿疱性乾癬	1人
・サルコイドーシス	310人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・筋萎縮性側索硬化症	20人	・原発性胆汁性肝硬変	81人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	193人	・重症急性膵炎	0人
・特発性血小板減少性紫斑病	96人	・特発性大腿骨頭壊死症	24人
・結節性動脈周囲炎	46人	・混合性結合組織病	109人
・潰瘍性大腸炎	158人	・原発性免疫不全症候群	28人
・大動脈炎症候群	85人	・特発性間質性肺炎	14人
・ビュルガー病	35人	・網膜色素変性症	39人
・天疱瘡瘡	33人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	6人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	94人	・神経繊維腫症	14人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	47人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病	148人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	17人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	38人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン舞踏病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週に5回程度、症例検討会を実施している。 (定例会は週3回。その他随時個別に臨床部門と6回以上開催。)		
剖検の状況	剖検症例数	86例	剖検率 20.57%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
受容体型チロシンキナーゼROR1のB細胞腫瘍における機能解析	福田 哲也	血液内科学	2,200	補 日本学術振興会
白血病細胞のシグナル活性化異常による抗癌剤耐性獲得機構の解明と制御法の開発	三浦 修	血液内科学	2,200	補 日本学術振興会
形質細胞分化におけるIRF4の役割	三木 徹	血液内科学	1,300	補 日本学術振興会
治験の実施に関する研究[タクロリムス水和物]	宮坂 信之	膠原病・リウマチ内科学	850	補 (社)社団法人 日本医師会
プロテインチップとプロテオーム技術を用いた新自己抗体の網羅的探索	上阪 等	膠原病・リウマチ内科学	3,300	補 文部科学省
「多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリムスの臨床試験」の調整・管理に関する研究	宮坂 信之	膠原病・リウマチ内科学	27,705	補 (社)社団法人 日本医師会
妊娠関連分子による関節炎の細胞周期制御療法の研究	野々村 美紀	膠原病・リウマチ内科学	1,500	補 文部科学省
細胞膜透過型タンパク製剤を用いた関節炎の細胞周期制御療法の研究	中里 款	膠原病・リウマチ内科学	2,600	補 文部科学省
炎症シグナルと接着シグナルのストローク	中元 哲也	膠原病・リウマチ内科学	1,800	補 日本学術振興会
細胞周期制御による新規抗リウマチ療法の開発	上阪 等	膠原病・リウマチ内科学	6,700	補 日本学術振興会
関節リウマチ治療における新規生物学的製剤の治療方針の作成及びその検証に関する研究	宮坂 信之	膠原病・リウマチ内科学	25,000	補 厚生労働省
関節リウマチに対するTNF阻害療法中のニューモシスティス肺炎予防指針の確立	小池 竜司	薬害監視学講座	3,400	補 日本学術振興会
アルドステロンによる血管障害機構:アンジオテンシンIIを機軸とした分子基盤の解明	吉本 貴宣	内分泌・代謝内科	1,800	補 日本学術振興会
新規降圧ペプチド(salusin)の発現調節と心臓での受容体・情報伝達系の解明	平田 結喜緒	分子内分泌内科学	7,300	補 日本学術振興会
水チャネルアキュアポリン2の細胞内輸送を特異的に制御する蛋白の同定と輸送機序の解明	野田 裕美	腎臓内科学	600	補 文部科学省
疾患起因性変異蛋白の解析による腎臓の水・電解質トランスポートソームの解明	内田 信一	腎臓内科学	17,800	補 文部科学省
水輸送を担うアキュアポリン水チャネルの機能と制御機構	佐々木 成	腎臓内科学	88,660	補 日本学術振興会
腎臓のクロライドイオン輸送異常症の病態解析と治療法開発	内田 信一	腎臓内科学	10,400	補 日本学術振興会
WNKキナーゼの解析による高血圧発症機序の解明と治療戦略	頼 建光	腎臓内科	1,500	補 日本学術振興会
核内転写因子による、敗血症性ショックの治療法の検討と開発	磯部 光章	循環制御内科学	900	補 日本学術振興会
心血管リモデリングにおける炎症の影響とその制御による新しい治療法の開発	鈴木 淳一	循環器内科	1,800	補 日本学術振興会
心不全における心筋萎縮の機序と転写因子Foxo1における転写後調節との関わり	前嶋 康浩	循環器内科	1,800	補 文部科学省
心筋細胞老化機構の解明および心不全治療への応用	安達 進	循環制御内科学	1,300	補 日本学術振興会
加齢指標蛋白質SMP30が関与する動脈硬化発症機序の解明	近藤 嘉高	血流制御内科学	1,000	補 日本学術振興会
メタボリックシンドローム進展因子の同定とその炎症惹起作用の生体内リアルタイム解析	吉田 雅幸	血流制御内科学	2,700	補 日本学術振興会
ミラクルビーズによる炎症性腸疾患責任抗原の同定と特異的免疫療法の開発	金井 隆典	消化器内科	2,000	補 文部科学省
炎症性腸疾患に対する次世代白血球除去療法の開発	荒木 昭博	消化器内科	700	補 日本学術振興会
骨髄移植による慢性大腸炎の新規治療法開発	松本 智子	消化器内科	1,380	補 日本学術振興会
ヒト臍帯血由来間葉系幹細胞を用いた肝細胞への分化誘導と細胞移植	陳 正新	消化器内科	1,700	補 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス発現モデル動物を用いたsiRNAによる感染抑制系の開発	大岡 真也	消化器内科	1,800	補 日本学術振興会
自己免疫疾患緩解増悪における免疫記憶細胞の役割とその免疫制御療法の開発	金井 隆典	消化器内科	4,000	補 文部科学省
原因腸内細菌抗原特異的自己免疫慢性大腸炎モデルと発症抑制プロバイオティクスの開発	金井 隆典	消化器内科	5,500	補 日本学術振興会
IL-7/IL-7レセプターネットワークの人為的制御による慢性大腸炎治療法の開発	山崎 元美	消化器病態学	2,100	補 文部科学省
白血球除去療法を応用した制御性細胞再移入細胞治療の開発	蒔田 新	消化器病態学	2,100	補 文部科学省
Math1分子による腸管上皮杯細胞分化と免疫制御機能の解明	土屋 輝一郎	消化器病態学	1,300	補 日本学術振興会
腸管粘膜局所IL-7ネットワーク制御応用による新規免疫制御療法開発	渡辺 守	消化器病態学	4,800	補 文部科学省
腸管上皮におけるWnt/Notchシグナル間新規クロストーク機構の解明	渡辺 守	消化器病態学	18,330	補 日本学術振興会
C型肝炎ウイルスレプリコン増殖を制御する宿主蛋白の包括的解析宿主蛋白の包括的解析	坂本 直哉	分子肝炎制御学講座	1,700	補 日本学術振興会
HCV複製増殖に関わる分子シャペロン・サイクロフィリンの機能解析	中川 美奈	分子肝炎制御学講座	1,800	補 文部科学省
細胞質p21の機能解明	水谷 修紀	発達病態小児科学	1,600	補 文部科学省

DNA損傷修復異常を伴う免疫不全症の解析	森尾 友宏	発達病態小児科学	2,500	補	日本学術振興会
白血病における染色体転座の発生機構	水谷 修紀	発達病態小児科学	10,400	補	日本学術振興会
境界性人格障害治療におけるネットワーク構築に関する研究	大島 一成	精神科	500	委	国立精神・神経センター
NMDA型グルタミン酸受容体コアゴニストの難治性統合失調症に対する臨床応用	竹内 崇	精神科	800	補	文部科学省
D-セリン脳内代謝の調節による統合失調症の新規治療薬開発への応用	山本 直樹	精神科	2,000	補	日本学術振興会
統合失調症様症状発現薬で誘導される発達依存的遺伝子の変異解析と精神疾患への応用	石井 澄和	精神行動医科学	1,300	補	日本学術振興会
不安障害の発症と病態に關与する脳内分子機構の研究	車地 暁生	精神行動医科学	1,700	補	日本学術振興会
グルタミン酸伝達系を標的とした統合失調症の新規治療法開発に関する研究	西川 徹	精神行動医科学	6,400	補	日本学術振興会
統合失調症の分子病態の解明	西川 徹	精神行動医科学	20,400	補	文部科学省
高次脳機能障害におけるD-セリンシステムの病態解明と治療法開発への応用	西川 徹	精神行動医科学	22,000	補	国立精神・神経センター
緑茶カテキンによる食道癌、頭頸部癌化学予防の基礎的、臨床的検討	河野 辰幸	血管・応用外科学	500	補	日本学術振興会
「血管疾患の診断と治療、バージャー病の病因」における内視鏡デバイスの開発	岩井 武尚	血管・応用外科学	1,200	補	日本学術振興会
バージャー病の病因解明への総括的研究	岩井 武尚	血管・応用外科学	9,490	補	日本学術振興会
下肢静脈瘤に対する血管内1320nmレーザー治療法の確立	菅野 範英	血管外科	800	補	日本学術振興会
Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフツ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	杉原 健一	腫瘍外科学	53	委	(財)先端医療振興財団
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究-第Ⅲ相臨床試験	杉原 健一	腫瘍外科学	630	委	(財)先端医療振興財団
大腸癌の発生、進展および治療感受性に關わる因子の解析	杉原 健一	腫瘍外科学	260	委	(独)科学技術振興機構
COX-2選択阻害剤を用いた各種固形癌に対する新しい化学療法の開発	杉原 健一	腫瘍外科学	2,100	補	日本学術振興会
パラフィン包埋標本を用いたcDNAマイクロアレイの開発と臨床応用	植竹 宏之	応用腫瘍学講座	9,360	補	日本学術振興会
バイオイメージングとメタボローム解析を利用した胆汁うっ滞の生態情報包括解析	有井 滋樹	肝胆膵・総合外科学	800	補	文部科学省
外科的応用を目指した肝細胞、胆管細胞への分化誘導の再生医学研究	寺本 研一	肝胆膵・総合外科学	10,270	補	日本学術振興会
学際的総合研究による消化器癌進展の分子機構解明と予防・診療ツールの開発	有井 滋樹	肝胆膵・総合外科学	30,810	補	日本学術振興会
脂肪肝における生体内毒素解毒機構の解明とその治療	工藤 篤	肝胆膵外科	1,000	補	文部科学省
生体内モニタリング下でのウイルス増殖コントロールによる脳腫瘍の治療	山本 信二	脳神経外科	2,100	補	日本学術振興会
神経細胞移植による脳機能再生医療の評価法としてのPETの応用に関する研究	成相 直	脳神経外科	1,600	補	日本学術振興会
ナビゲーションを用いた生体、人脳スライス標本でのてんかん焦点抑制性受容体機能解析	前原 健寿	脳神経外科	1,800	補	日本学術振興会
ポジトロン標識マルチレーザーを用いた神経再生移植治療の生体内評価の研究	稲次 基希	脳神経外科	1,900	補	文部科学省
脊髄誘発磁場計測装置の研究開発	川端 茂徳	整形外科	6,090	委	(財)石川県産業創出支援機構
変形性関節症の分子病態の解明-RUNXファミリー遺伝子変異マウスを用いた検討	神野 哲也	整形外科	1,000	補	日本学術振興会
人工骨を担体としたビスフォスフォネート製剤の局所投与による骨巨細胞腫の治療	草野 和生	整形外科	1,300	補	日本学術振興会
疾患モデルマウスを用いた椎間板ヘルニア発症機序に関する分子生物学的検証	麻生 義則	整形外科	1,800	補	日本学術振興会
マイクロダイゼクション法を用いた椎体終板硬化過程の網羅的分子機構解析	古賀 大介	整形外科	2,100	補	日本学術振興会
損傷脊髄モデルに対する損傷脊髄環境の制御と幹細胞移植を用いた軸索再生と機能回復	四宮 謙一	整形外科科学	700	補	文部科学省
RNA干渉を用いた骨芽細胞、脂肪細胞分化調節因子の新規同定とその機能解析	新井 嘉容	整形外科科学	1,500	補	日本学術振興会
ナノテクノロジーを応用した人工臓器の開発 (骨類似材料の人工骨としてのデバイス化/生物学的特性評価)	四宮 謙一	整形外科科学	2,000	委	文部科学省
靭帯骨化マウス、RUNX遺伝子変異マウスを用いた靭帯骨化症の分子病態の解明	阿江 啓介	整形外科科学	1,000	補	日本学術振興会
DNAマイクロアレイを用いた骨髄間葉系幹細胞の機能的分類・培養法の検討	四宮 謙一	整形外科科学	4,800	補	日本学術振興会
中枢性骨代謝制御の分子基盤-交感神経受容体及び摂食調節因子変異マウスによる検討-	竹田 秀	整形外科科学	5,070	補	文部科学省
滑膜由来幹細胞の大量関節内注入による関節内組織修復促進	関矢 一郎	軟骨再生学	1,800	補	日本学術振興会
皮膚悪性黒色腫の染色体遺伝子異常解析	並木 剛	皮膚科	1,400	補	文部科学省
アトピー性皮膚炎由来の表皮角化細胞における転写調節因子の解析	井川 健	皮膚科学	800	補	文部科学省
強皮症のHGF遺伝子プラスミドを用いた遺伝子療法の臨床的応用	呉 明花	皮膚科学	1,400	補	文部科学省
アトピー性皮膚炎の難治化機序の解析と遺伝子療法の開発に関する研究	横関 博雄	皮膚科学	500	補	日本学術振興会

レノファンを標的とした選択的対酸球浸潤抑制療法の開発	佐藤 貴浩	皮膚科学	700	補 日本学術振興会
強皮症硬化機序の解析とHGF遺伝子プラスミドを用いた遺伝子療法の開発	西岡 清	皮膚科学	1,300	補 日本学術振興会
Activinの、前立腺および腎での細胞増殖・分化・癌化に対する効果	木原 和徳	泌尿器科学	1,000	補 日本学術振興会
培養中皮細胞による人工腹膜作製およびその臨床応用	高沢 亮治	泌尿器科学	1,800	補 文部科学省
アルキル化ピロールイミダゾールポリアミドによるホルモン抵抗性前立腺癌治療法の開発	兵地 信彦	泌尿器科学	1,000	補 日本学術振興会
ピロールイミダゾールポリアミドによる低酸素応答転写因子阻害と尿路癌抗癌剤耐性克服	影山 幸雄	泌尿器科学	1,100	補 日本学術振興会
マウス眼色素上皮細胞における抑制分子遺伝子発現の網羅的解析	岩永 洋一	眼科学	1,700	補 文部科学省
ヒト虹彩および前房水より誘導された眼特異的抑制細胞の機能解析	杉田 直	眼科学	1,800	補 文部科学省
強度近視における血管新生黄斑症の分子機構解明と治療法の確立	二神 創	眼科学	1,000	補 日本学術振興会
amyloid β を標的とした加齢黄斑変性の脈絡膜血管新生に対する治療戦略	大野 京子	眼科学	2,200	補 日本学術振興会
血型感音難聴を呈する非症候群性遺伝性難聴における難聴遺伝子の同定	八島 隆敏	耳鼻咽喉科	1,100	補 文部科学省
内耳発生におけるSIX1遺伝子とSLC26A4遺伝子の相互作用	高橋 正時	耳鼻咽喉科	1,300	補 文部科学省
糖尿病モデルマウスにおける難聴発症機序の解明	川島 慶之	耳鼻咽喉科	1,500	補 文部科学省
ヒト側頭骨病理標本からレーザーキャプチャー・ダイセクションによる難聴遺伝子の抽出	喜多村 健	耳鼻咽喉科学	700	補 文部科学省
レーザーキャプチャー・ダイセクションを用いた内耳感覚細胞のオールエヌエー解析	古宇田 寛子	耳鼻咽喉科学	1,200	補 文部科学省
ヒトと実験動物モデルの難聴におけるCDH23遺伝子の関与	喜多村 健	耳鼻咽喉科学	1,600	補 日本学術振興会
急性高度難聴に関する調査研究	喜多村 健	耳鼻咽喉科学	14,000	補 厚生労働省
精子受精能と細胞内情報伝達系についての研究	清水 康史	周産・女性診療科	1,600	補 日本学術振興会
磁気共鳴スペクトロスコピーによる低酸素性虚血性脳症の病態解析	宮坂 尚幸	周産・女性診療科	2,500	補 日本学術振興会
RAGE: 肺傷害の病態における役割と肺傷害マーカーとしての臨床応用に関する検討	内田 篤治郎	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	800	補 日本学術振興会
心房性Na利尿ペプチドと肺水腫改善メカニズム: 肺胞上皮機能からの検討	山川 直子	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	900	補 文部科学省
HMGB1の肺胞上皮傷害作用に関する検討	白澤 円	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	2,600	補 文部科学省
急性呼吸不全と各種人工呼吸による肺損傷-虚脱肺と浮腫肺に対する作用の相違	中沢 弘一	心肺統御麻酔学	1,000	補 日本学術振興会
第16番染色体長腕に連鎖する優性遺伝性小脳変性症関連遺伝子の機能解析	融 衆太	脳神経病態学	1,700	補 日本学術振興会
治験の実施に関する研究[酢酸リユープロレリン]	水澤 英洋	脳神経病態学	2,800	補 (社)社団法人 日本医師会
いかなる変異に対しても特異的な新規RNA干渉法のin vivoでの有効性の検討	久保寺 隆行	脳神経病態学	3,300	補 文部科学省
脂質酸化はAベータの脳からの排泄を低下させる	横田 隆徳	脳神経病態学	3,400	補 文部科学省
GNE遺伝子異常によるRimmed vacuole型遠位型ミオパシーの病態解明	水澤 英洋	脳神経病態学	1,000	委 国立精神・神経センター
自発的グルタミン酸放出のシナプス形成・成熟・伝達効率への寄与の解明	高森 茂雄	脳神経病態学	3,500	補 文部科学省
グルタミン酸作動性ニューロンの分子多様性とその生理学的意義の解明	高森 茂雄	脳神経病態学	8,970	補 文部科学省
テンバジー、新世界サルを用いたC型肝炎のRNA干渉による遺伝子治療	横田 隆徳	脳神経病態学	10,400	補 日本学術振興会
脊髄小脳失調症6型の発症機序の解明と治療法の開発	水澤 英洋	脳神経病態学	13,520	補 日本学術振興会
RNAiを用いた神経・筋疾患の画期的治療法の開発	水澤 英洋	脳神経病態学	26,399	補 国立精神・神経センター
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	水澤 英洋	脳神経病態学	130,000	補 厚生労働省
遺伝性脊髄小脳変性症(16q-ADCA III)の分子病態解明	石川 欽也	神経内科	21,250	補 厚生労働省
わが国における尊厳死に関する研究	松島 英介	心療・緩和医療学	4,500	補 厚生労働省
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS1補助化学療法の検討-多施設無作為化比較試験-	岸本 誠司	頭頸部外科学	0	委 (財)先端医療振興財団
ビタミンEを用いたsiRNAの脳への新しいデリバリー法の開発	叶内 匡	検査部	3,400	補 文部科学省
Notchを分子標的とする急性骨髄性白血病の新規治療法とその適応症例選別法の開発	東田 修二	臨床検査医学	1,300	補 日本学術振興会
術期の呼吸管理における肺傷害マーカーに関する研究	山本 衛	手術部	2,500	補 文部科学省
核内酵素ポリ(ADP-リボース)シンターゼ阻害による敗血症性ショックの治療戦略	三高 千恵子	救命救急医学	900	補 日本学術振興会
ヘリコバクターピロリ菌の胃所属リンパ節へのtranslocationの頻度と意義	小林 大輔	人体病理学	600	補 文部科学省
オートファジーによる細胞内感染防御システムと肉芽腫形成機構	江石 義信	人体病理学	8,060	補 日本学術振興会
レトロウイルスによって増強されるアポトーシス機構の解明と遺伝子治療への応用	北川 昌伸	包括病理学	1,000	補 日本学術振興会
アポトーシス増強シグナルを応用した遺伝子治療法の開発	長谷川 真紀	包括病理学	1,420	補 日本学術振興会

大腸上皮におけるNotchシグナル機能と慢性大腸炎における上皮分化異常機構	岡田 英理子	光学医療診療部	1,300	補 日本学術振興会
再生医学的アプローチによる腎疾患治療への基礎的検討	寺田 典生	血液浄化療法部	1,000	補 文部科学省
腎尿細管および糸球体細胞の再生医学の腎疾患治療への基礎的検討	寺田 典生	血液浄化療法部	2,100	補 日本学術振興会
HCV増殖を抑制するインターフェロン誘導遺伝子群の探索及び機能解析	井津井 康浩	総合診療部	1,800	補 文部科学省
卒後臨床研修を視野に入れた卒前臨床実習の再検討	田中 雄二郎	臨床医学教育開発学	1,100	補 日本学術振興会
医療リスク教育を目的とした医用HAZOP法の開発—基本外科手技の分析演習を通じて	大川 淳	臨床医学教育開発学	1,500	補 日本学術振興会
バイオインフォマティクス解析を応用した新規ヒト生理活性ペプチドの同定	七里 眞義	医療福祉支援センター	5,000	補 文部科学省
血管新生抑制シグナルを指標にした新規腫瘍休眠療法薬の同定	七里 眞義	医療福祉支援センター	7,400	補 日本学術振興会
テロに対する医療体制の充実及び評価に関する研究	大友 康裕	救急災害医学	9,600	補 厚生労働省
出血性ショックに続発する多臓器障害に対する代用血液および保存血の影響	相星 淳一	救命救急センター	500	補 日本学術振興会
電子医療情報の有効利用による傷病および医療機能に関する統計情報の収集・分析・利活用の効率化と充実のための方策に関する研究	伏見 清秀	医療情報部	1,500	補 厚生労働省
医療圏における地域疾病構造および患者受療行動に基づく地域医療の評価のあり方に関する研究	伏見 清秀	医療情報部	2,500	補 厚生労働省
Pattern Generator(CPG)を介した新たな嚥下障害治療法の開発	山脇 正永	臨床教育研修センター	1,600	補 日本学術振興会

計141件

- 注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入する。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者に複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は、「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけたうえで、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表者等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncogene. 2006;25:4332-4340	Bcr/ABL and IL-3activate Rap1 to stimulate the B-Raf/MEK/Erk and Akt signaling pathways and to regulate proliferation, apoptosis, and adhesion	Kurosu T	血液内科
Cell Signal. 2006;18:2162-2171	CrkL plays a role in SDF-1-induced activation of the Raf-1/MEK/Erk pathway through Ras and Rac to mediate chemotactic signaling in hematopoietic cells	Arai A	血液内科
Cell Signal. 2006;18:174-182	Reactive oxygen species generated by hematopoietic cytokines play roles in activation of receptor-mediated signaling and in cell cycle progression	Kurosu T	血液内科
Am J Physiol Endocrinol Metab 2006;291:E771-E778	Angiotensin II induces monocyte chemoattractant protein-1 expression via nuclear factor-kappa B-dependent pathway in rat preadipocytes	Tsuchiya K	内分泌・代謝内科
Endocrine J 2006;53:679-685	A Case of acromegaly associated with subclinical Cushing's disease	Tsuchiya K	内分泌・代謝内科
Intern Med 2006;45:1231-1235	Subclinical Cushing's disease with amelioration of metabolic comorbidities after removal of pituitary tumor	Minami I	内分泌・代謝内科
Endocr J 2006;53:415-419	A case of factitious adrenal insufficiency after vascular graft surgery caused by spurious immunometric assays	Sakai H	内分泌・代謝内科
Intern Med 2006;45:519-524	Glucose-responsive and octreotide-sensitive insulinoma	Izumiyama H	内分泌・代謝内科
Cell Biology International 2006;30:270-277	Role of C-terminus of Kir7.1 potassium channel in cell-surface expression	Tateno T	内分泌・代謝内科
Peptides 2006;27:2561-2566	Presence of immunoreactive salusin- α in human serum and urine	Sato K	内分泌・代謝内科
Endocrine J 2006;53:237-245	A case of estrogen-secreting adrenocortical carcinoma with subclinical Cushing's syndrome	Fukai N	内分泌・代謝内科
Biochem Biophys Res Commun. 349: 804-808, 2006	Overexpression of human WNK1 increases paracellular chloride permeability and phosphorylation of claudin-4 in MDCKII cells	Ohta A	腎臓内科
Am J Physiol Cell Physiol. 290(1): C298-304, 2006	The polarized trafficking of the aquaporin-3 water channel is mediated by an N-Terminal Sorting Signal	Rai T	腎臓内科
Proc Natl Acad Sci U S A. 103: 14217-14222, 2006	Pathogenesis and treatment of autosomal-dominant nephrogenic diabetes insipidus caused by an aquaporin 2 mutation	Sohara E	腎臓内科
Biochim Biophys Acta. 1758(8): 1106-10, 2006	Physiological roles of AQP7 in the kidney: Lessons from AQP7 knockout mice	Sohara E	腎臓内科
Biochem Biophys Res Commun. 344 (1): 246-52 2006	Postnatal expression of KLF12 in the inner medullary collecting ducts of kidney and its trans-activation of UT-A1 urea transporter promoter	Suda S	腎臓内科
J Cell Physiol. 206: 792-798, 2006	Intracellular localization of ClC chloride channels and their ability to form hetero-oligomers	Suzuki T	腎臓内科
Arterioscler Throm Vasc Biol. 26: 1447-1456, 2006	T cell costimulation in the development of cardiac allograft vasculopathy: Potential targets for therapeutic interventions	Isobe M	循環器内科
Trend Cardiovasc Med. 16: 188-193, 2006	Hepatocyte growth factor: Effects on immune-mediated heart diseases	Isobe M	循環器内科
Int Heart J 47: 461-468, 2006	Successful catheter ablation of focal left atrial tachycardia originating from the mitral annulus aorta junction	Hirao K	循環器内科
J Vasc Res 43: 12-18, 2006	Ultrasound-microbubble mediated NF- κ B decoy transfection attenuates neointimal formation after arterial injury in mice	Inagaki H	循環器内科
Int J Cardiovasc Imaging. 22: 443-448, 2006	Utility of Gallium-67 Scintigraphy for Evaluation of Cardiac Sarcoidosis with Ventricular Tachycardia	Futamatsu H	循環器内科
Int Heart J. 47:159-171,2006	Poststenting axial redistribution of atherosclerotic plaque into the reference segments and lumen reduction at the stent edge. A volumetric intravascular ultrasound study	Algowhary M	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 40:688-695, 2006	A Cyclooxygenase-2 Inhibitor Alters Th1/Th2 Cytokine Balance and Suppresses Autoimmune Myocarditis in Rats	Suzuki J	循環器内科
J Am Coll Cardiol. 47: 2319-2325, 2006	Serum tenascin-C might be a novel predictor of left ventricular remodeling and prognosis after acute myocardial infarction	Isobe M	循環器内科
Circulation. 113: 2613-2622, 2006	Pioglitazone prevents acute and chronic cardiac allograft rejection	Kosuge H	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 40:853-861, 2006	A CCR1 antagonist prevents the development of experimental autoimmune myocarditis in association with T cell inactivation	Futamatsu H	循環器内科
Circ J. 70: 600-604, 2006	P-selectin expression, but not GPIIb/IIIa activation, is enhanced in the inflammatory stage of Takayasu's arteritis	Isobe M	循環器内科
Circ J. 70: 1142-1147, 2006	An oxygen therapy prevents ventricular arrhythmias in patients with congestive heart failure and sleep apnea	Suzuki J	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 41:885-892, 2006	A New RXR agonist, HX630, suppresses intimal hyperplasia in a mouse blood flow cessation model	Haraguchi G	循環器内科
Arterioscler Throm Vasc Biol. 26: 2660-2665, 2006	Critical role of inducible costimulatory (ICOS) in the development of arteriosclerosis and atherogenesis	Kosuge H	循環器内科
Transplant Proc. 38: 3318-3320, 2006	Altered expression of hepatocyte growth factor in cardiac allografts of non-human primates	Suzuki J	循環器内科
Am J Physiol. 291: G267-G274, 2006	FTY720 suppresses CD4+CD44highCD62L- effector memory T cell-mediated colitis	Kanai T	消化器内科
J Viral Hepatitis. 13:690-700, 2006	Expressional screening of interferon-stimulated genes for antiviral activity against hepatitis C virus replication	Sakamoto N	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 21:1136-1142, 2006	Ameliorating effect of saporin-conjugated anti-CD11b monoclonal antibody in a murine T-cell-mediated chronic colitis	Kanai T	消化器内科
Progress of Digestive Endoscopy. 68(2): 53-57, 2006	新しい工夫・ダブルオーバーチューブ法によるダブルバルーン内視鏡の報告	荒木昭博	消化器内科
Br J Haematol. 135(3):336-47, 2006	Common gene expression signatures in t(8;21)- and inv(16)-acute myeloid leukaemia	Ichikawa H	小児科
results from the Japan Infant Leukemia Study Group. Blood 107(12):4663-5, 2006	Japan Infant Leukemia Study Group. Infants with acute lymphoblastic leukemia and a germline MLL gene are highly curable with use of chemotherapy alone	Nagayama J	小児科
Immunity. 25: 745-55, 2006	Human tyrosine kinase 2 deficiency reveals its requisite roles in multiple cytokine signals involved in innate and acquired immunity	Minegishi Y	小児科
Cancer Research. (in press), 2006	Knockdown of XAB2 enhances All-Trans Retinoic Acid-Induced Cellular Differentiation in All-Trans Retinoic Acid-Sensitive and -Resistant Cancer Cells	Ohnuma-Ishikawa K	小児科
Blood (in press), 109: 212-218,2007	Hematopoietic Stem Cell-Engrafted NOD/SCID/IL2rgnull Mice Develop Human Lymphoid System and Induce Long-Lasting HIV-1 Infection with Specific Humoral Immune Responses	Watanabe S	小児科
Bone Marrow Transplant. 37: 469-77, 2006	Hematopoietic stem cell transplantation for 30 patients with primary immunodeficiency diseases: 20 years experience of a single	Tsuji Y	小児科
J Clin Invest. 116(1):80-9, 2006	Early G2/M checkpoint failure as a molecular mechanism underlying etoposide-induced chromosomal aberrations	Nakada S	小児科

J Neurochem 2006; 96: 30-42	Inhibition of d-serine accumulation in the <i>Xenopus</i> oocyte by expression of the rat ortholog of human 3'-phosphoadenosine 5'-phosphosulfate transporter gene isolated from the neocortex as d-serine modulator-1	Shimazu D, Yamamoto N, Umino A, Ishii S, Sakurai S, Nishikawa T	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 2006; 60: 365-372	Quantitative magnetic resonance spectroscopy of schizophrenia: relationship between decreased N-acetylaspartate and frontal lobe dysfunction	Tanaka Y, Obata T, Sassa T, Yoshitome E, Ikehira H, Suhara T, Okubo Y, Nishikawa T	精神科
J. Affect. Disorder, 2006; 95: 35-42	Effects of repetitive transcranial magnetic stimulation on [11C] raclopride binding and cognitive function in patients with depression	Kuroda Y, Motohashi N, Ito H, Ito S, Takano A, Nishikawa T, Suhara T	精神科
J Neural Transm 2006; 113: 1717-1721	Evidence for involvement of glial cell activity in the control of extracellular D-serine contents in the rat brain	Kanematsu S, Ishii S, Umino A, Fujihira T, Kashiwa A, Yamamoto N, Kurumaji A, Nishikawa T	精神科
臨床精神医学 2006; 35: 1207-1212	修正型電気けいれん療法(m-ECT)が著効した両心室ペースメーカーを植込まれたうつ病の1症例;特集 電気けいれん療法(ECT)の治療経験—症例を中心に—	光定博生, 正木秀和, 大島一成, 車地暁生, 西川 徹	精神科
Int Angio. 2006; 25: 287-292	Effect of low-density lipoprotein apheresis on patients with peripheral arterial disease. Peripheral arterial disease LDL apheresis multicenter study (P-LAS)	Iwai T	血管外科
日本アフェレンス学会雑誌2006; 25: 42-51	非高脂血症下肢閉塞性動脈硬化症に対するアフェレンス治療研究会. 非高脂血症下肢閉塞性動脈硬化症に対するアフェレンス治療の施設臨床評価	岩井武尚	血管外科
日血外誌. 2006; 15: 597-602	膝窩動脈瘤手術症例の検討	井上芳徳	血管外科
手術. 2006; 10: 1617-1622	膝窩動脈捕捉症候群に対する手術 後方アプローチによる解剖学的捕捉解除および膝窩動脈血行再建術	菅野範英	血管外科
Dis Colon Rectum 2006; 49(3): 392-398	Coexpression of VEGF-C and Cox-2 in Human Colorectal Cancer and its Association With Lymph Node Metastasis	Uetake H	大腸・肛門外科
Dis Colon Rectum 2006; 49: 1663-1672	Indication and benefit of pelvic sidewall dissection for rectal cancer	Sugihara K	大腸・肛門外科
Ann Surg Oncol(Epub ahead of print)2006	Effect of Combined Therapy With Low-Dose 5-Aza-2-Deoxycytidine and Irinotecan on Colon Cancer Cell Line HCT-15	Ishiguro M	大腸・肛門外科
Br J Cancer 2006; 94: 1130-1135	Phase I/II study of S-1 combined with irinotecan for metastatic advanced gastric cancer	Inokuchi M	大腸・肛門外科
Surgery 2006; 139(4): 516-522	Distribution of lymph node metastasis is a prognostic index in patients with stage III colon cancer	Kobayashi H	大腸・肛門外科
日本外科学会雑誌2006; 107(2): 77-80	【悪性腫瘍に対する内視鏡外科の現状とその評価】胃癌	小嶋一幸	大腸・肛門外科
消化器外科2006; 29(1): 19-28	直腸癌術後のフォローアップ法	樋口哲郎	大腸・肛門外科
消化器外科2006; 29(8): 1149-1158	大腸癌肝転移の治療方針と成績	安野正道	大腸・肛門外科
臨床外科2006; 61(11):197-203	直腸癌に対する自律神経温存術	榎本雅之	大腸・肛門外科
J Biol Chem. 28:281(30):21183-97. 2006	The early-immediate gene EGR-1 is induced by transforming growth factor-beta and mediates stimulation of collagen gene	Chen SJ	皮膚科
J Virol. 80(15):7375-81. 2006	Reduction of human T-cell leukemia virus type 1 (HTLV-1) proviral loads in rats orally infected with HTLV-1 by reimmunization with HTLV-1-infected cells	Komori K	皮膚科
Am J Pathol. 169(2):697-707. 2006.	STAT-6-mediated control of P-selectin by substance P and interleukin-4 in human dermal endothelial cells	Miyazaki Y	皮膚科
J Immunol. 15:177(4):2621-9. 2006	Prostaglandin D2 plays an essential role in chronic allergic inflammation of the skin via CRTH2 receptor	Satoh T	皮膚科
Tissue Engineering. 12: 2629-37. 2006	Transplantation of an autologous mesothelial cell sheet prepared from tunica vaginalis prevents post-operative adhesions in a canine model	Asano T, Takazawa R, Yamato M, Takagi R, Jimura Y, Masuda H, Kihara K, Okano T	泌尿器外科
BJU Int. 97: 1184-9. 2006	Deferred combined androgen blockade therapy using bicalutamide in patients with hormone-refractory prostate cancer during androgen deprivation monotherapy	Fujii Y, Kawakami S, Masuda H, Kobayashi T, Hyochi N, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Act Oncol. 45: 317-24. 2006	Suppression of VEGF transcription in renal cell carcinoma cells by pyrrole-imidazole hairpin polyamides targeting the hypoxia responsive element	Kageyama Y, Sugiyama H, Ayame H, Iwai A, Fujii Y, Eric Huang L, Kizaka-Kondoh S, Hiraoka M	泌尿器外科
Int J Clin Oncol. 11: 127-32. 2006	Optimal sampling sites for repeat prostate biopsy: a recursive partitioning analysis of three-dimensional 26-core systematic biopsy	Kawakami S, Hyochi N, Yonese J, Yano M, Fujii Y, Kageyama Y, Fukui I, Kihara K	泌尿器外科
J Urol. 176: 387-93. 2006	Altered nitric oxide synthase, arginase and ornithine decarboxylase activities, and polyamine synthesis in response to ischemia of the rabbit detrusor	Kawano K, Masuda H, Yano M, Kihara K, Sugimoto A, Azuma H	泌尿器外科
Proc Natl Acad Sci USA. 103: 11318-22. 2006	Hsp90 inhibition transiently activates Src kinase and promotes Src-dependent Akt and Erk activation	Koga F, Xu W, Karpova TS, McNally JG, Baron R, Neckers L	泌尿器外科
Urology. 67: 435-9. 2006	15-deoxy-delta12,14-prostaglandin J2 attenuates development of cyclophosphamide-induced cystitis rats	Masuda H, Chancellor MB, Kihara K, Yoshimura N	泌尿器外科
J Urol. 176: 374-9. 2006	Roles of peripheral and central nicotinic receptors in the micturition reflex in rats	Masuda H, Hayashi Y, Chancellor MB, Kihara K	泌尿器外科
BJU Int. 97: 1322-6. 2006	Loss of uroplakin III expression is associated with a poor prognosis in patients with urothelial carcinoma of the upper urinary tract	Ohtsuka Y, Kawakami S, Fujii Y, Koga F, Saito K, Ando N, Takizawa T, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
J Urol. 176: 2268-73. 2006	Spatial and isoform-specific p63 expression in the male human urogenital tract	Saito K, Kawakami S, Okada Y, Takazawa R, Koga F, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Clin Cancer Res. 12: 3003-9. 2006	Glucocorticoids suppress tumor angiogenesis and in vivo growth of prostate cancer cells	Yano A, Fujii Y, Iwai A, Kawakami S, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Clin Cancer Res. 12: 6012-7. 2006	Glucocorticoids suppress tumor lymphangiogenesis of prostate cancer cells	Yano A, Fujii Y, Iwai A, Kawakami S, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Report of 4 cases. Int J Urol. 13: 829-31. 2006	11C-choline positron emission tomography in bladder cancer	Yoshida S, Nakagomi K, Goto S, Futatsubashi M, Torizuka T	泌尿器外科
Urology. 68: . 2006	The role of volume and attenuation value histogram of urinary stone on noncontrast helical CT as the predictor of fragility by extracorporeal shock wave lithotripsy	Yoshida S, Hayashi T, Ikeda J, Yoshinaga A, Ohno R, Ishii N, Okada T, Osada H, Honda N, Yamada T	泌尿器外科
泌尿器科紀要 52: 173-5. 2006	大量蒸留水灌流による表在性膀胱癌の術中播種阻止の検討	酒井康之, 藤井靖久, 兵地信彦, 増田 均, 川上 理, 小林 剛, 影山幸雄, 木原和徳	泌尿器外科

Arch Ophthalmol. 2006;124:46-52	Characteristics of peripapillary detachment in pathologic myopia	Shimada N, Ohno-Matsui K, Yoshida T, Yasuzumi K, Kojima A, Kobayashi K, Futagami S, Tokoro T, Mochizuki M.	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2006;47:2547-2554	Ocular infiltrating CD4+ T cells from patients with Vogt-Koyanagi-Harada disease recognize human melanocyte antigens	Sugita S, Takase H, Taguchi C, Imai Y, Kamoi K, Kawaguchi T, Sugamoto Y, Futagami Y, Itoh K, Mochizuki M	眼科
Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol. 2006;244:1363-1366	Choroidal vein and artery occlusion following photodynamic therapy in eyes with pathologic myopia	Ohno-Matsui K, Moriyama M, Hayashi K, Mochizuki M	眼科
Am J Ophthalmol. 2006;142:497-500	Natural Course of Macular Retinoschisis in highly myopic eyes without macular hole or retinal detachment	Shimada N, Ohno-Matsui K, Baba T, Futagami S, Tokoro T, Mochizuki M	眼科
Br J Ophthalmol. 2006;90:765-768	Capacity of ocular infiltrating T helper type 1 cells of patients with noninfectious uveitis to produce chemokines	Takase H, Sugita S, Taguchi C, Imai Y, Mochizuki M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2006;47:1557-1561	Cytokine profile in aqueous humor and sera of patients with infectious or noninfectious uveitis	Takase H, Futagami Y, Yoshida T, Kamoi K, Sugita S, Imai Y, Mochizuki M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2006;47:2547-2554	Ocular infiltrating CD4+ T cells from patients with Vogt-Koyanagi-Harada disease recognize human melanocyte antigens	Sugita S, Takase H, Taguchi C, Imai Y, Kamoi K, Kawaguchi T, Sugamoto Y, Futagami Y, Itoh K, Mochizuki M	眼科
Surg Technol International. 15:41-43.2006	Clinical applications of commercially available video recording and monitoring systems: inexpensive, high-quality video recording and monitoring systems for endoscopy and microsurgery	Tsunoda K	耳鼻咽喉科
Laryngoscope. 116:796-799.2006	SIX1 mutation associated with enlargement of the vestibular aqueduct in a patient with Branchio-Oto syndrome	ito T	耳鼻咽喉科
Otolaryngol Head Neck Surg. 134:708-709.2006	Oncocytoma in the parotid gland presenting a remarkable increase in fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography	Hagino K	耳鼻咽喉科
耳展49:308-310.2006	ナビゲーションシステムを用いた頭蓋底腫瘍摘出の現況	角田篤信	耳鼻咽喉科
耳展49:308-310.2006	ナビゲーションシステム支援下の前頭蓋底手術-嗅神経芽細胞腫の一例	菅又悠子	耳鼻咽喉科
Radiat Med Vol.24: 553-559. 2006	Acute and late genitourinary toxicity of conformal radiotherapy for prostate cancer	Yoshimura Ryo-ich	画像診断・放射線治療科
J. Neurosurg. Anesthesiol. 2006;18:37-46	The evolution of cerebral ischemia in a rat model of complete unilateral carotid artery occlusion with severe hypotension as detected by diffusion- T2-, and postcontrast T1-weighted magnetic resonance images	Ishikawa S	麻酔・蘇生・ペインクリニック科
American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine 2006; 173: 1008-1015	Receptor for advanced glycation end-products is a marker of type 1 cell injury in acute lung injury	Uchida T	麻酔・蘇生・ペインクリニック科
Neuroscience Research 2006; 55: 264-270	Glutamate transporters GLAST and EAAT4 regulate posts ischemic Purkinje cell death. An in vivo study using a cardiac arrest model in mice lacking GLAST or EAAT4	Yamashita Akihide	麻酔・蘇生・ペインクリニック科
人工呼吸2006; 23: 172-177	癌性気管狭窄に対する気管-気管支内ステント術の麻酔管理	中沢弘一	麻酔・蘇生・ペインクリニック科
日本ペインクリニック学会誌 2006; 13: 118-121	耳介側頭神経ブロックと後頭頸椎関節ブロックの併用が奏効した群発頭痛の1症例	舩田昭夫	麻酔・蘇生・ペインクリニック科
Proc Natl Acad Sci USA 2006; 103: 7112-7117	A carbohydrate-binding protein, Galectin-1, promotes proliferation of adult neural stem cells	Ishibashi S	神経内科
J Neurol Sci 2006; 247: 180-186	16q-linked autosomal dominant cerebellar ataxia. A clinical and genetic study	Ishikawa K	神経内科
J Hum Genet 2006; 51: 461-466	A -16C>T substitution in the 5'-UTR of the puratrophin-1 gene is prevalent in autosomal dominant cerebellar ataxia in Nagano	Ishikawa K	神経内科
1-linked ADCA. Neuropathology 2006; 26: 352-360	On autosomal dominant cerebellar ataxia (ADCA) other than polyglutamine diseases, with special reference to chromosome 16q22	Ishikawa K	神経内科
Biochem Biophys Res Commun 2006; 350 (3): 530-536	Deletion of vitamin E enhances phenotype of Alzheimer disease model mouse	Nishida Y	神経内科
Diagn Microbiol Infect Dis. 2006 (on-line)	A case of listeria meningitis associated with increased adenosine deaminase in cerebrospinal fluid	Nishida Y	神経内科
Biochem Biophys Res Commun 2006; 340: 263-267	In vivo delivery of small interfering RNA targeting brain capillary endothelial cells	Hino T	神経内科
Neuroreport 2006; 17 (18): 1893-1897	Cerebral networks for spontaneous and synchronized singing and speaking	Saito Y	神経内科
Arch Neurol 2007; 64: 145-146	Increase of disease duration of amyotrophic lateral sclerosis in a mouse model by transgenic small interfering RNA	Yokota T	神経内科
Jpn J Thorac Cardiovasc Surg. 2006 Jan; 54 (1): 3-10	Physiological comparison of off-pump and on-pump coronary artery bypass grafting in patients on chronic hemodialysis	Arai H	心臓・肺外科
INNOVATIONS 2006; 1: 126-130	A new multi-suction cardiac positioner for multi-vessel off-pump coronary artery bypass grafting	Arai H	心臓・肺外科
胸部外科 Vol.59 No.13 1159-. 2006-12	初回手術4年後に多発性の粘液腫再発を認めたCarney症候群	田中啓之	心臓・肺外科
平成17年度研究報告書 35-38	環境中鳥関連抗原測定を試み 厚生労働科学研究 特発性間質性肺炎の画期的治療法に関する臨床研究	吉澤靖之	呼吸器内科
Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery 2006; 59: 108-109	Sugano H, Umeda T, Hata Y. A rare case of microtia with hyperplastic antihelix	Yokoyama A	形成・美容外科
Psychiatry and Clinical Neurosciences 60 (3): 277-282, 2006	An evaluation strategy for the early detection of postoperative delirium	Matsushima E	診療医療科
Stem Cells. 2006 Nov 30	Synovial stem cells are regionally specified according to local micro environments after implantation for cartilage regeneration	Koga H	運動機能再建学
Cell Tissue Res. 2006 Oct 13	Comparison of rat mesenchymal stem cells derived from bone marrow, synovium, periosteum, adipose tissue, and muscle	Yoshimura H	運動機能再建学

Bone. 2006 Oct 13	ED-71, a novel vitamin D analog, promotes bone formation and angiogenesis and inhibits bone resorption after bone marrow ablation	Okuda N	運動機能再建学
Aug;41(4):303-10, 2006	Stem cell properties of human periodontal ligament cells. J Periodontol Res	Nagatomo K	運動機能再建学
Arthroscopy. 2006 Apr;22(4):356-61	Cadaveric knee observation study for describing anatomic femoral tunnel placement for two-bundle anterior cruciate ligament reconstruction	Mochizuki T	運動機能再建学
Arthroscopy. 2006 Mar;22(3):252-8	A retrospective study of the midterm outcome of two-bundle anterior cruciate ligament reconstruction using quadrupled semitendinosus tendon in comparison with one-bundle reconstruction	Muneta T	運動機能再建学
Arthritis Rheum. 2006 Mar;54(3):843-53	Higher chondrogenic potential of fibrous synovium- and adipose synovium-derived cells compared with subcutaneous fat-derived cells: distinguishing properties of mesenchymal stem cells in humans	Mochizuki T	運動機能再建学
Am J Sports Med. 2006 Jan;34(1):84-91	Effects of local administration of vascular endothelial growth factor on properties of the in situ frozen-thawed anterior cruciate ligament in rabbits	Ju YJ, Tohyama H	運動機能再建学
J Cell Biochem. 2006 Jan 1;97(1):84-97	In vitro chondrogenesis of human synovium-derived mesenchymal stem cells: optimal condition and comparison with bone marrow-derived cells	Shirasawa S	運動機能再建学
日鼻誌45(1):105-106, 2006	鼻副鼻腔悪性腫瘍に対するアプローチにおける問題点	角田篤信	頭頸部外科
頭頸部外科16(2):109-113-, 2006	ナビゲーションシステム支援下の前頭蓋底手術-嗅神経芽細胞種の1症例-	岸本誠司	頭頸部外科
Leukemia Research 2006;30:1385-1390	Establishment of a novel B-cell lymphoma cell line with suppressed growth by gamma-secretase inhibitors	Tohda S	検査部
Leukemia and Lymphoma 2006;47:2400-	NOTCH1 mutations are rare in acute myeloid leukemia	Tohda S	検査部
J Med Dent Sci. 53: 51-56, 2006	CAD/CAM Evaluation of the fit of trans-tibial sockets for trans-tibial amputation stumps	Morita S	リハビリテーション
SHOCK 2006;25:66-72	Prevention of ischemia reperfusion injury by positive pulmonary venous pressure in isolated rat lung	Gabriela S Georgieva	集中治療部
Shock. 27:84-90, 2007	Nonischemic lung injury by mediators from unilateral ischemic reperfused lung: ameliorating effect of tumor necrosis factor-alpha-converting enzyme inhibitor	Georgieva GS	病理部
J Neurochem. 99:70-83, 2006	Hepatoma-derived growth factor, a new trophic factor for motor neurons, is up-regulated in the spinal cord of PQBP-1 transgenic mice before onset of degeneration	Okazawa H	病理部
Biochim Biophys Acta. 1762:794-801, 2006	Sarcoidosis and NOD1 variation with impaired recognition of intracellular Propionibacterium acnes	Eishi Y	病理部
Shock. 25:66-72, 2006	Prevention of ischemia reperfusion injury by positive pulmonary venous pressure in isolated rat lung	Georgieva GS	病理部
癌の臨床. 52:295-299, 2006	尿細胞診におけるAlpha-methylacyl-CoA racemase (AMACR/P504S)の良悪性鑑別に関する有用性	池田 聡	病理部
消化器内視鏡. 18(7):1105-1109, 2006	胃EMRC法-計画的分割切除の意義	竹下公矢	光学医療診療部
Progress of Digestive Endoscopy 68: 53-57, 2006	新しい工夫・ダブルオーバーチューブ法によるダブルバルーン内視鏡の報告	荒木昭博	光学医療診療部
日本内科学会雑誌. 95: 1775-1780, 2006	炎症性免疫疾患の治療 炎症性免疫疾患に対する白血球除去療法	渡辺 守	光学医療診療部
日本透析医学会雑誌39(8):1293-1297.	肛門および多臓器に多発性透析アミロイド腫瘍を呈した血液透析患者の1剖検例	佐々木 成	血液浄化療法部
Undersea Hyperb Med. 2006 Jul-Aug;33(4):265-70	Dissociation of neurological deficits in spinal decompression illness	Yamami N, Mano Y	高気圧治療部
Japanese Journal of Physical Fitness and sports Medicine Vol55(3):341-346, 2006	Evaluation of scuba diving work load	N. Yamami, Y. Mano	高気圧治療部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2006 May;14(5):404-10. Epub 2006 Jan 4	Substance P immunoreactive fibers of synovial tissue in patients with anterior cruciate ligament injury	Yagishita K	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 Vol.41(1):13-17, 2006	レジャーダイビングにおける問題点	山見信夫	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 Vol.41(1):25-30, 2006	圧気潜函工法における問題点について	眞野喜洋, 山見信夫, 柳下和慶	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会誌. Vol.6(2):28-30, 2006	ガイドダイバーの潜水プロフィールと窒素ガス溶解量から減圧症発症予防対策を考察	山見信夫, 柳下和慶, 眞野喜洋	高気圧治療部
耳鼻と臨床52:270-275, 2006	fNIRSを用いた嚔下関連運動時の脳機能解析	山脇正永	総合診療部
Mod Rheumatol 2006, 16:316-320	Leflunomide-related acute interstitial pneumonia in two patients with rheumatoid arthritis: autopsy findings with a mosaic pattern of acute and organizing diffuse alveolar damage	Miyasaka N	臨床試験管理センター
Ann Rheum Dis 2006, 65:1667-1669	Exacerbation of chronic active Epstein-Barr virus infection in a patient with rheumatoid arthritis receiving humanised anti-interleukin-6 receptor monoclonal antibody	Miyasaka N	臨床試験管理センター
20 years experience of a single team. Bone Marrow Transplant. 37: 469-77, 2006	Hematopoietic stem cell transplantation for 30 patients with primary immunodeficiency diseases	Tsuji Y, Imai K, Kajiwara M, Aoki Y, Isoda T, Tomizawa D, Imai M, Ito S, Maeda H, Minegishi Y, Ohkawa H, Yata J, Sasaki N, Kogawa K, Nagasawa M, Morio T, Nonoyama S, Mizutani S	細胞治療センター
Blood 2006 Sep 5: [Epub ahead of print]	Hematopoietic stem cell-engrafted NOD/SCID/IL2Rnull mice develop human lymphoid system and induce long-lasting HIV-1 infection with specific humoral Immune Responses	Watanabe S, Terashima K, Ohta S, Horibata S, Yajima M, Shiozawa Y, Dewan Z, Yu Z, Ito M, Morio T, Shimizu N, Honda M, and Yamamoto	細胞治療センター
日本救急医学会雑誌 17:845-53, 2006	Preventive Effects of Sivelestat Sodium Hydrate on Lippolysaccharide-Induced Intestinal Paralysis in Conscious Guinea Pigs	加地正人	救命救急センター

計 149件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを記入すること
(当該医療技術に所属する医師等がもたらした研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長	坂本 徹
管理担当者氏名	総務課長	富田 有一
	管理課長	廣瀬 一郎
	医事課長	丸山 和久

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療 経過の要約		医学部附属 病院病歴管理室	[入院カルテ] 入院中は当該病棟で管理し退院後は病歴管 理室において一括管理を行っている。 [外来カルテ] 患者一カルテを実施しており, カルテは病歴 管理室において管理を行っている。	
病院日誌		医学部総務課		
各科診療日誌, エックス線写真		各診療科		
病院の管理及 び運営に関する 諸記録	従事者数を明らかにする帳簿	総務部人事課		
	高度な医療の提供に係る実績	医学部医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価に係 る実績	医学部管理課		
	高度の医療の研修に係る実績	医学部総務課		
	閲覧実績	医学部総務課		
	紹介患者に対する医療提供に係る実 績	医学部医事課		
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数	医学部医事課		
	理規 のた め第 9条 の体 制第 23 及び 第1 1条 各号 に掲 げる 安全 管	専任の院内感染対策を行う者 の配置状況	医学部附属病院 安全管理対策室	
		専任の医療に係る安全管理を 行う者の配置状況	医学部附属病院 安全管理対策室	
		医療に係る安全管理を行う部 門の設置状況	医学部附属病院 安全管理対策室	
当該病院内に患者からの安全 管理に係る相談に適切に応じ る体制の確保状況		医学部附属病院 患者相談室		
医療に係る安全管理のための 指針の整備状況		医学部附属病院 安全管理対策室		
医療に係る安全管理のための 委員会の開催状況		医学部附属病院 安全管理対策室		
医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況		医学部総務課		
医療機関内の事故報告等の医 療に係る安全の確保を目的と した改善のための方策状況	医学部附属病院 安全管理対策室			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	小畑 昌司(医学部事務部長)
閲覧担当者氏名	富田 有一(医学部総務課長)
閲覧の求めに応じる場所	医学部附属病院1階会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	55.4%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,418人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,454人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		4,715人
	D: 初診の患者の数		36,054人

- (注)1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dはそれぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	①(有) 2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	②(有) 1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	③(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専任(2)名 兼任(2)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1)事故・インシデント等の情報収集、分析、改善。 (2)安全管理対策の立案・調整・周知・評価。 (3)職員への教育研修の企画、実施・マニュアルの作成。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	④(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	⑤(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○インフォームドコンセントを徹底した患者本位の全人的医療、安全な医療の提供を行う。 ○医療現場でのインシデント報告を通しての検証及び事故防止対策を策定・実施する。 ○医療における基本の徹底と質の向上を図る。 ○上記の目的を実施するため、次の機構を組織 <ul style="list-style-type: none"> (1)安全管理委員会…本院における医療事故防止に関する方策の検討・実施、各種マニュアルの策定及び研修等を行う。 (2)リスクマネージャー会議…各診療科、中央診療部門の中核となる実務者で構成し、日常における安全管理レポート等からの事故の検証と再発防止につとめる。 (3)安全管理対策室…安全管理レポートの調査分析等を行うとともに、事故防止に関する適宜マニュアルの追加並びに指導を行う。 ○患者からの相談に対応するため、院内に患者相談室を置き、必要に応じ、関連部署との連絡調整を行い、相談内容を適切に処理する。 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 48 回
<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理委員会(26回) ・リスクマネージャー会議(11回) ・安全管理対策室会議(11回) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療事故防止に関する方策の検討・実施、各種マニュアルの策定及び研修等を行う。 ○安全管理レポート等からの事故の検証と再発防止につとめる。 ○安全管理レポートの調査分析等を行うとともに、事故防止に関する指導を行う。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 42 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○患者側代理人から見た医療の安全管理について ○重大事態発生時の対応について ○法人化後の病院マネジメントと医療安全について 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○インシデント・アクシデント報告の内容分析 ○リスクマネージャー会議でのワーキンググループ 	